

杏林大学外国語学部 実務経験のある教員による授業科目一覧

No	科目名	単位数	学科	科目担当者	実務経験内容	実務経験内容に基づく授業内容
1	日本語授業の実際I	2	共通	荒川 みどり	非母語話者日本語教師研修の計画および実施	数十以上の国と地域で現場に立つ非母語話者教師を対象にした研修のコースデザインや授業、コーディネートを担当した経験を通じ、教師や学習者の多様性や現場の特性を考慮した教授法の意義を学び、問題作成や評価に当たり、学習者個々の学び方や理解の仕方のちがいに留意できるような実践的内容を目指している。
2	日本語教育実習II	2	共通	荒川 みどり	非母語話者日本語教師研修計画および実施	数十以上の国と地域で現場に立つ非母語話者教師を対象にした研修のコースデザインや授業、コーディネートを担当した経験を通じ、教師や学習者の多様性や現場の特性を考慮した教授法の意義を学び、参考書に書かれていない予想外の教室でのインタラクションや学習者個々の学び方や理解の仕方のちがいに留意できるような授業を考えさせている。
3	観光リスクマネジメント論	2	観光交流文化	宇佐美 貴浩	品質保証関連部署にて国土交通省との調整業務を担当し、企業の危機管理に関する実務を経験した。	危機管理に関する概念や理論を論ずるだけでなく、それらの理論を踏まえて、様々な企業不祥事を分析する。まずは、その危機が発生する可能性を減らすためのリスクマネジメントについて分析し、次にその危機が発生した後に、その被害をできるだけ小さくするためのクライシスマネジメントについて検討する。これらのケーススタディを通して、危機管理を意識して行う必要性を認識し、それらに対応する方法論を習得する。
4	ホスピタリティ入門	2	共通	志村 良浩	国内航空会社における接客サービス（客室・空港）、客室乗務員の教育訓練および客室サービス品質管理など	客室・空港における接客や教育訓練部門での経験をもとに、①日常生活の中でより良いコミュニケーションをはかるための対人スキルの向上、②高品質なサービス提供のための接客対応の基本、③顧客満足度を高めるためのホスピタリティ・マインドの醸成、を体系的に修得する。また、ホスピタリティ産業として代表される企業におけるサービス向上の取り組み事例から抽出されるホスピタリティ・マネジメント手法について概観する。
5	航空サービス論	2	観光交流文化	志村 良浩	国内航空会社における客室乗務・空港旅客サービス業務、サービス企画、機内食会社経営など	航空サービスは多岐に亘る。客室や空港におけるサービスの現場、客室サービスの企画立案、機内食会社の経営などの経験をもとに、以下の3テーマの授業を行う。①航空サービスに関する基礎知識の習得、②サービスを提供される旅客側の動線的視点による「国際線・国内線」サービスの考察、③サービスを提供する各職種（予約・客室・空港旅客・運航・グランドハンドリング・機内食など）の業務内容によるサービスの考察。
6	航空産業論	2	観光交流文化	真野 靖久	日本航空株式会社に25年間在籍、羽田空港の旅客係、国際線の客室乗務員など現業部門を11年間、間接部門で客室乗務員の人事・労務関連業務を14年間に亘り担当した。	現業で培った経験と知識をベースにしつつ、人事・労務担当の立場で関わった多くの案件や社内スキームなどと関連させながら、国際民間航空の歴史やその枠組みを授業の軸として論ずる。例えば、世界的な潮流である航空行政の変化（多くは規制緩和）がもたらす国際民間航空への様々な影響、および数々のインシデントに晒される航空会社の経営環境とそれらへの対応など具体的な事例と共に理解させる。
7	宿泊サービス論	2	観光交流文化	神保 真一	株式会社帝国ホテルにおいて約30年の実務経験。宿泊・接遇部門（フロント、コンシェルジュ、VIP接遇、ベル、客室他）、レストラン部門（売上・経費予算管理、催事企画立案、ウェイトラー業務他）、営業企画部門（商品開発・マーケティング、ブランド管理、顧客管理他）、事業開発部門（企業グループホテル運営管理、ホテル開業関連業務他）、人事部（労務、人事、福利厚生他）、調理部門（コック業務）、海外ホテル勤務（米国）等々	ホテルの経営と運営の特徴・部門別機能と職能別サービス、ホテル関連法規、宿泊部門の組織、業務の流れとフロント・客室をはじめとする各部署の実務内容、料飲部門の組織・業務の流れと料飲施設の種類、業務別実務、マーケティング部門の組織、業務の流れとマーケティング戦略の要素・顧客管理・ブランド管理、ホテル施設管理、食品衛生、営業収益・費用などの授業内容において実務経験に基づき講義を実施。
8	ホスピタリティマネジメント論	2	観光交流文化	神保 真一	株式会社帝国ホテルにおいて約30年の実務経験。宿泊・接遇部門（フロント、コンシェルジュ、VIP接遇、ベル、客室他）、レストラン部門（売上・経費予算管理、催事企画立案、ウェイトラー業務他）、営業企画部門（商品開発・マーケティング、ブランド管理、顧客管理他）、事業開発部門（企業グループホテル運営管理、ホテル開業関連業務他）、人事部（労務、人事、福利厚生他）、調理部門（コック業務）、海外ホテル勤務（米国）等々	ホスピタリティとサービスの概念の違い、ホスピタリティとサービスが持っているそれぞれの価値について、モノに対するマーケティングとサービスに対するマーケティングの違いによる接遇サービスにおける留意点とホスピタリティとの関連、サービスコミュニケーションの抱える問題点、現場レベル・組織レベルのホスピタリティマネジメントと人材育成などの授業内容において実務経験に基づき講義を実施。
9	英語科教育法I	2	英語	倉林 秀男	中学校、高等学校での英語教員	中学校、高等学校での英語教員の経験から、現場での実践的な教育方法について理論と並行して考える。
10	英語科教育法II	2	英語	倉林 秀男	中学校、高等学校での英語教員	中学校、高等学校での英語教員の経験から、現場での実践的な教育方法について理論と並行して考える。
11	ビジネスイングリッシュI	2	英語	関 美和	ハーバードビジネススクールでMBA取得。モルガンスタンレー投資銀行で国際金融業務に従事。クレイフィッシュ投資顧問で東京支店長。ファンドマネジャーとして日本株の調査及び運用。30年にわたり国際ビジネスの一線に立つ。	30年にわたる国際金融経験を生かして、ビジネスの場で使える実践的な英語を教える。電話対応、交渉、メール、プレゼンテーションなど、場面ごとによく使う語彙や言い回しを紹介。ディクテーションとダイアローグを取り交ぜ、「聞く・話す」を中心に授業を展開する。同時に産業やビジネスについても枠組みと概念を学べるようにする。
12	ビジネスイングリッシュII	2	英語	関 美和	ハーバードビジネススクールでMBA取得。モルガンスタンレー投資銀行で国際金融業務に従事。クレイフィッシュ投資顧問で東京支店長。ファンドマネジャーとして日本株の調査及び運用。30年にわたり国際ビジネスの一線に立つ。	30年にわたる国際金融経験を生かして、ビジネスの場で使える実践的な英語を教える。電話対応、交渉、メール、プレゼンテーションなど、場面ごとによく使う語彙や言い回しを紹介。ディクテーションとダイアローグを取り交ぜ、「聞く・話す」を中心に授業を展開する。同時に産業やビジネスについても枠組みと概念を学べるようにする。
13	フードビジネス論	2	観光交流文化	西山 桂子	ホテル（料飲部門 総料理長秘書）	多様な業態で規模の拡大を目指すチェーンレストランと同時に、ホテル内料飲施設など高級レストランにも注目する。システム化されたチェーンの経営手法とミシュランの評価対象になる熟練料理人の世界を対比させることで外食産業の多様性を理解する。また、様々な国籍のシェフが働く調理場にいた経験から、日本の食文化や商習慣がどのように見られているのか、異文化から見た日本のフードビジネスを意識した内容でもある。

杏林大学外国語学部 実務経験のある教員による授業科目一覧

No	科目名	単位数	学科	科目担当者	実務経験内容	実務経験内容に基づく授業内容
14	フードビジネスサービス論	2	観光交流文化	西山 桂子	ホテル(料飲部門 総料理長秘書)	この授業を通じて、第1に外食企業の財務情報解説、第2に店舗運営に必要な計数管理ができるようになる。サービス以上に計数管理に厳しい現場経験に基づき、食材費や人件費の最適な配分、合理的な仕入れ、データに基づくメニューや在庫管理など、「どんぶり勘定」ではない経営の考え方を修得する。
15	英語教育論Ⅰ	2	英語	海谷 千波	東京都立学校教諭	英語教育や英語学習に問題意識を持つ者を対象に、英語教育や英語学習に関する言説を批判的に思考できることを目的とした授業である。教育現場で活用される、英語教育や英語学習に関する「常識」・「当然」・「当たり前」と思い込む傾向のある22のテーマを取り上げ、その概念・定義・構成要素・課題を「再」整理することで、英語教育や英語学習の改善を積極的に図るための知識を身につける。
16	英語教育論Ⅱ	2	英語	海谷 千波	東京都立学校教諭	英語教育や英語学習の改善案を提示し、自ら行動する意思のある者を対象に、受講生自らが、より良い英語教育者や英語学習者になることを目的とした授業である。英語教育論Ⅰで学んだ課題に対して、学生自らが主体的・対話的な活動を通して(1)より良い英語教育の提言、あるいは(2)より良い英語学習の提言を行う。
17	情報処理	2	英語	小林 輝美	IT系カスタマーサポート全般、商品販売前のサポート(合同展示会イベント会場、客先でのデモンストレーションなど)、販売後のサポート(商品使用方法、プログラミング等各種講習講師、プログラムのカスタマイズ、ハードウェア、ソフトウェアのサポート、操作方法等マニュアル作成、英文マニュアル翻訳など)および社員教育も担当した。	「情報処理」の主な目的は教職課程の科目として情報機器の操作方法を習得することであるが、小学校でプログラミングが必修化されることもあり、中・高の英語科教員としてプログラミング教育を受けた生徒を適切に指導することができるよう、操作方法、およびプログラミングに関する必要最低限の知識、技能を持った学生を育成する。また、講師経験を活かし、教員に必要とされる話し方、指導方法も同時に習得できる授業を行う。
18	中国語通訳法Ⅰ	2	中国語	池田 尚広	日本と中国の文化交流と相互理解を促進する民間団体における交渉、通訳業務。主に文学、美術、音楽、演劇、宗教、医療などの代表団相互派遣や文化交流事業を担当した。	通訳技術習得に関わるトレーニング方法の解説と実践。中国や台湾の代表団来日時におけるアテンド業務の一連の流れを理解した上で、実際の現場を想定した通訳パフォーマンスを行う。学生のレベルに応じて要人の会見、展覧会案内、会議、シンポジウムや座談会の通訳を盛り込み、それまで習得した中級から実務に応用できるレベルにまで中国語運用能力を高めることを図る。
19	中国語通訳法Ⅱ	2	中国語	池田 尚広	日本と中国の文化交流と相互理解を促進する民間団体における交渉、通訳業務。主に文学、美術、音楽、演劇、宗教、医療などの代表団相互派遣や文化交流事業を担当した。	通訳技術習得に関わるトレーニング方法の解説と実践。中国や台湾の代表団来日時におけるアテンド業務の一連の流れを理解した上で、実際の現場を想定した通訳パフォーマンスを行う。学生のレベルに応じて要人の会見、展覧会案内、会議、シンポジウムや座談会の通訳を盛り込み、それまで習得した中級から実務に応用できるレベルにまで中国語運用能力を高めることを図る。
20	ビジネス中国語Ⅰ	2	中国語	藤田 由香利	中国大連・北京にて事務兼採用を担当 日本の保険会社にて企業翻訳業務(日本語・中国語)を担当	中国語の基礎を身につけた学習者が、職場において人前である程度まとまった内容を話せる表現力をつけるため、自己紹介や入社面接、着任の挨拶、プレゼンテーションなど実践的なテーマでビジネスフレーズや話しの組み立て方を学ぶことができる。
21	ビジネス中国語Ⅱ	2	中国語	藤田 由香利	中国大連・北京にて事務兼採用を担当 日本の保険会社にて企業翻訳業務(日本語・中国語)を担当	中国語の基礎を身につけた学習者が、職場において人前である程度まとまった内容を話せる表現力をつけるため、自己紹介や入社面接、着任の挨拶、プレゼンテーションなど実践的なテーマでビジネスフレーズや話しの組み立て方を学ぶことができる。
合計単位数		20	英語			
		14	中国語			
		20	観光交流文化			